

燃費向上委員会

創刊号
2014年12月
株中田商事

日々の積み重ねが大事 ～タートルズの燃費向上より～

今回取り上げるのは、2014年度実績（4月～10月）でグループ燃費を7か月連続向上させる（前年同月比）など好成績継続中の、当社グループの「タートルズ（橋本浩二リーダー）」だ。

タートルズは4台平車7台に対し、メンバー9名で構成される。今年度より燃費向上を目指し、毎月グループで決定する自主管理表の燃費目標をメンバーそれぞれが日頃の運転において、意識し好成績を継続している。

【データで観るタートルズの意識】

左記データでもわかる通り、7か月連続で前年同月比燃費を上回り、1か月の平均燃費6kmℓを超えた。

項目	前年燃費	今年燃費	差	向上率
4月	5.69	6.11	0.42	7.50%
5月	5.84	6.17	0.33	5.70%
6月	5.64	6.24	0.60	10.60%
7月	5.48	5.84	0.36	6.40%
8月	5.71	5.95	0.25	4.30%
9月	5.84	6.12	0.28	4.80%
10月	5.87	6.08	0.21	3.50%
平均	5.72	6.07	0.35	6.10%

燃費については、積載物や運行経路にも左右される部分もある中、これだけ成果を継続していることは紛れもなく、運転意識の成果であろう。



タートルズのグループ目標

月	燃費目標
4※	個人目標
5※	個人目標
6	高速 80Km 走行
7	早めのシフトアップ
8	無駄なアイドリングストップ
9	停車時の早めのアクセルオフ
10	無駄なアイドリングストップ

※4・5月は個人目標だったため、橋本リーダー個人の目標



その毎日の積み重ねが結果として表れてうれい。」と笑う。
目標はグループ目標になった6月以降毎月変更し、変更しても前月意識したことは無意識化されていることも多いという。
橋本リーダー自身も、これまでは昔の運転方式で、燃費も5.5kmℓ辺りを推移していた。橋本浩二リーダーが乗車する車番36も前年同月比で7か月連続燃費が向上しているが、橋本リーダーは「自分が意識を変えて運転し、成果として感じたことを若手や新入社員に伝えている。その中で、全員が省エネ運転に意識を向けたことがグループとしての成果に繋がったと分析する。



橋本リーダーはこの結果を受けて、「特別変わったことはしていない。日常の運転において自分達の決めた目標を少し意識するだけ。」

【どのように成果を挙げたのか】

【今後の継続・更なる向上に向けて】

燃費向上の観点だけでなく、もっと広域な観点で業務にあたる必要があると橋本リーダーは話す。

例えば、時間の問題だ。スピードを落とすことで、当然時間は延びる。時間短縮の観点からも、経路効率を考えることも必要。ナビに頼るドライバーが増え、時間帯や道路状況の考慮なしに走り、結果的に出発が遅く、低速走行しているリーダーよりも到着が遅くなるドライバーも少なくないという。ナビは着地まで誘導してくれるが、道の1つ1つは選べない。対して、**地図は道のひとつひとつを自分でチョイス**でき、橋本リーダーは同じ着地でも未だに他の効率良い道がないか模索しているという。

また、燃費向上の観点だけでなく、停車時のエンジンストップや宿泊時のエンジンストップ（0.7時間ガソリン使用）等やれることは限りなくたくさんある。しかし、停車時のエンジンストップを頻繁に行い過ぎることは、逆にバッテリーの負担を高め整備費の高騰に繋がる可能性があるし、気持ち良く走れず人によっては走ることがストレスになってしまう。また宿泊時のエンジンストップは冬場等体調を考慮すると必ずしもベストな選択とは言えない。

燃費だけでなく、全ての状況のバランスを考え、その中燃費向上にできることをやる**ことが重要である。**

はっちゃんの格言

「できる（当たり前な）ことを（当たり前）やる」、そして、「それを継続する」ことが大切